

秋のいきもの

涼しさを感じるとともに、生き物の活動はだんだんと穏やかになる季節です。植物は、どんぐりなどの実を観察できる種が増えていきます。昆虫は、だんだんと活動する種が減っていきませんが、カネタタキなど鳴く虫の音で秋を感じることができます。また、タカなどの鳥の渡りが見られるのはこの時期です。

植物

【野山で見られる植物】

ムラサキシキブ（紫式部）



- シソ科
- 木本

●見られる時期：（実）9月～11月
6月ごろに淡紫色の花が咲き、秋に紫色の小さな実を多数つけます。市内の山林に自生します。公園や庭には、コムラサキがよく植栽されています。

どんぐり（団栗）※写真はコナラ



- ブナ科の果実の総称
- 木本

●見られる時期：（実）10月～11月
市内の山林には、マテバシイやスダジイ、クヌギ、コナラなどが自生しています。公園等にも多く植栽されています。

【人里で見られる植物】

クズ（葛）



- マメ科
- 草本

●見られる時期：（花）8月～9月

夏から秋に紫色の花が咲きます。つる性の多年草です。つるは長く伸びて、地面や他の植物を広くおおいます。大きな根に多量のでんぷんを貯蔵しており、くず粉として利用されました。

セイタカアワダチソウ

（背高泡立草） ※重点対策外来種



- キク科
- 草本

●見られる時期：（花）9月～10月

黄色い小さな花を多数つけます。市内のいたる所でみられる外来植物です。

昆虫

カネタタキ



●**聞ける時期**：8月～11月中旬
体長1cm ちよつとの虫です。翅（はね）はオスにしかなく、とても短いのですが、左右こすり合わせて小さな音を出します。鳴く虫の中ではもっとも遅い時期まで聞こえます。

オンブバッタのおんぶ



●**見られる時期**：9月～10月
いろいろな草の葉の上で初夏からよく幼虫を見かけます。成虫になり、メスがオスから「おんぶ」している姿は、夏の終わりから秋にかけて目にすることができます。

アキアカネ成熟個体の飛来



●**見られる時期**：9月中旬～11月中旬
ため池や水田などで発生する、身近な「赤とんぼ」の一つです。羽化したのち高標高の山地で夏を過ごすため、三浦半島では秋に多くの飛来個体や繁殖が観察できます。

エンマコオロギ



●**見られる時期**：8月～10月中旬
大型のコオロギです。夏も終わりに近づくと草むらから鳴き声が聞こえるようになります。夜には明かりの近くで見つかることもあります。涼しい季節になると昼でも鳴きます。

魚類・両生類

熱帯性魚類の来遊 【夏秋に掲載】

※写真はトゲチョウチョウウオ



●見られる時期：7月～10月

サンゴの海で生まれたトゲチョウチョウウオは、夏にやってきて、冬の寒さ死んでしまいます。このような魚たちを「死滅回遊魚」や「季節来遊魚」などと呼びます。

鳥

ツバメの飛来

【春夏秋に掲載】



●見られる時期：3月～9月ごろ

春から夏に1～2回の産卵をし、9月までに子育てを終えます。親鳥と巣立ったヒナはヨシ原などに集まり、やがて越冬地の東南アジアなどの熱帯・亜熱帯地域へと旅立ちます。

シギ・チドリ類の飛来

【春秋に掲載】
※写真はチュウシャクシギ



●見られる時期：4月～5月, 9月～10月

生まれ故郷シベリアと越冬地の東南アジアを行き来するシギやチドリのなかまは、旅の途中に横須賀に立ち寄ります。

タカの渡り

※写真はサシバ



●見られる時期：9月～10月

夏に九州以北で繁殖したタカのなかまは、繁殖を終えた9月中旬～10月上旬頃、越冬地のある西に向かい集団で飛んできます。これを「タカの渡り」と呼びます。

カモ類の飛来

【春秋冬に掲載】

※写真はマガモ



●見られる時期：9月末～4月

横須賀ではカルガモ以外のカモは、みな「冬鳥」です。秋に繁殖地であるシベリアなどから越冬地の水辺にやってきて、暖かなる春になると生まれた場所に帰ってきます。